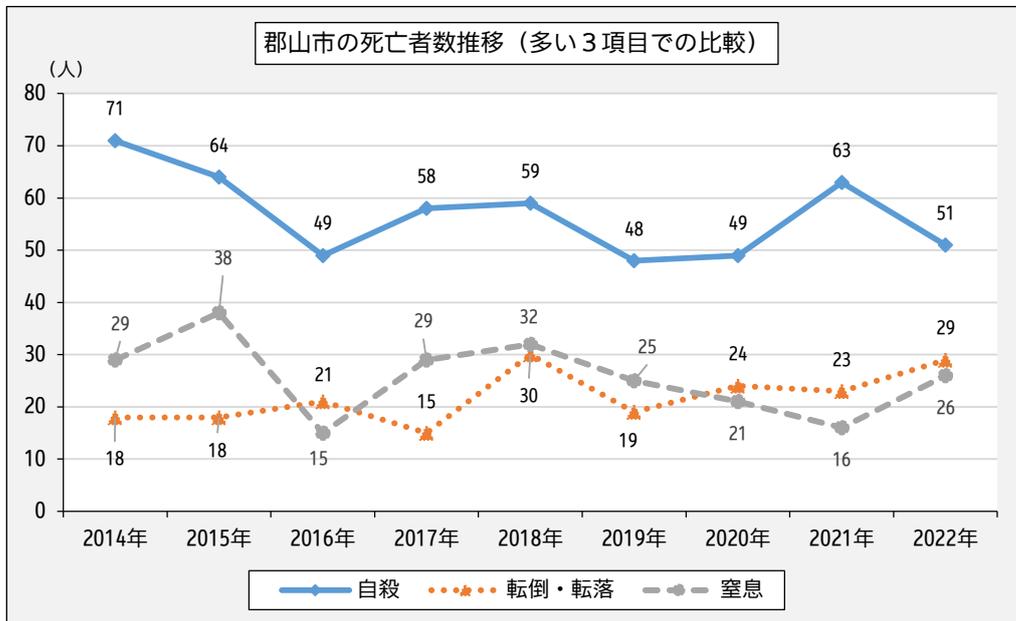


分野4 自殺予防

(1) 傷病及びその他外因ごとの死亡者数推移（郡山市） （2022年における死亡者数が多い3項目での比較）

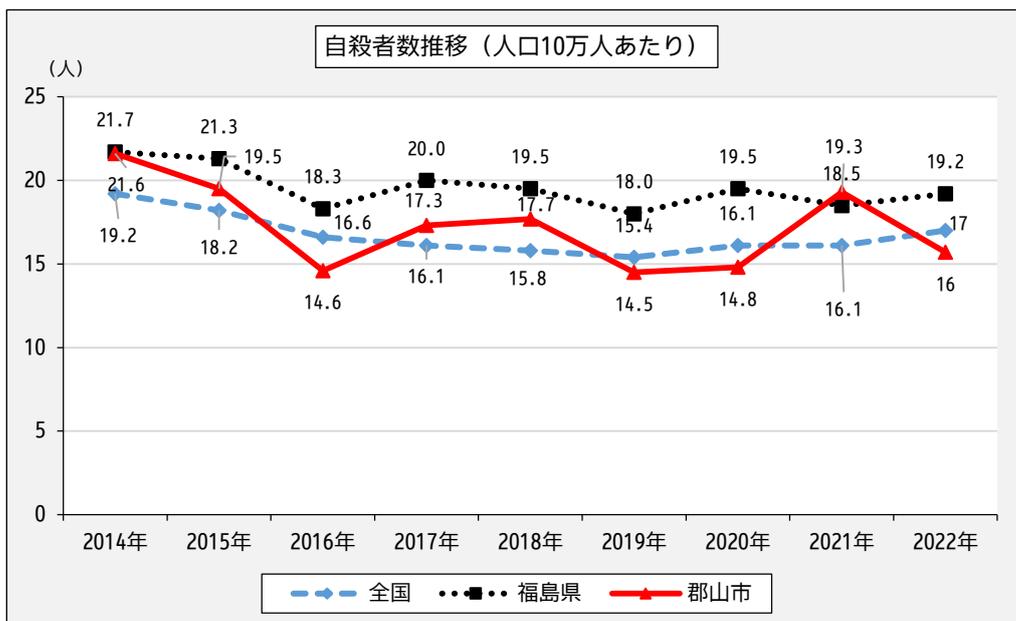
病気を除く死因では、「自殺」が常に一番多い。2022年は次いで「転倒・転落」、「窒息」となっている。



（備考） 「人口動態統計」（厚生労働省）を加工して作成

(2) 自殺者数推移（人口10万人あたり）

郡山市は2014年以降、増減を繰り返している。2021年は全国、福島県を上回ったが、2022年は再び減少した。



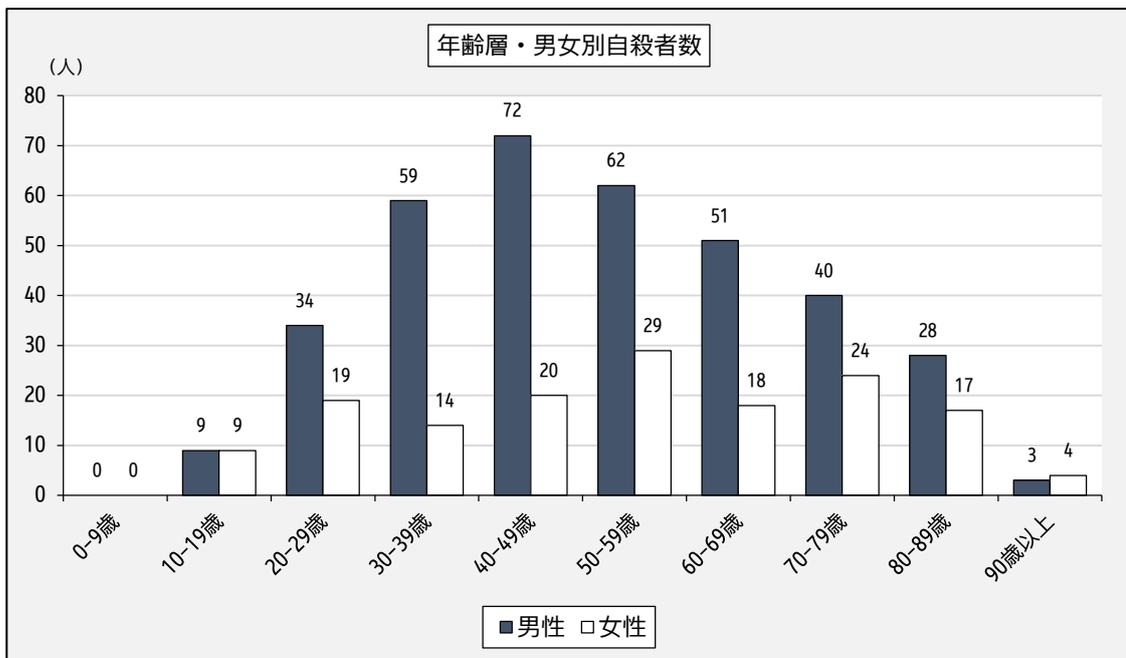
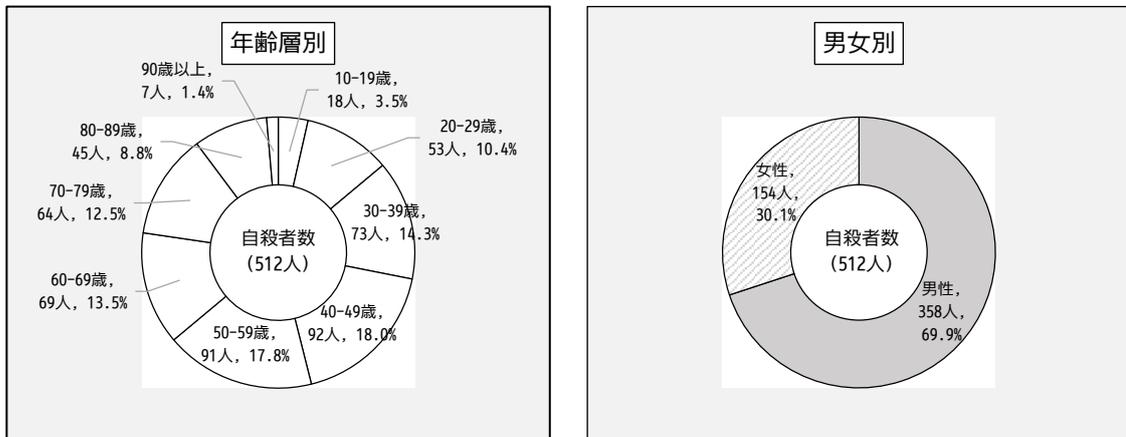
（備考） 1 「人口動態統計」（厚生労働省）を加工して作成

2 算出に用いた人口はP. 5の表1による

分野4 自殺予防

(3) 年齢層別・男女別自殺者数（郡山市）（2014～2022年累計）

年齢層では、「40-49歳」が18.0%で一番多く、次いで「50-59歳」が17.8%、「30-39歳」が14.3%となっている。男女別では、男性が女性より2倍以上多い。また、年齢別男女別でみると40代の男性の自殺が多い。

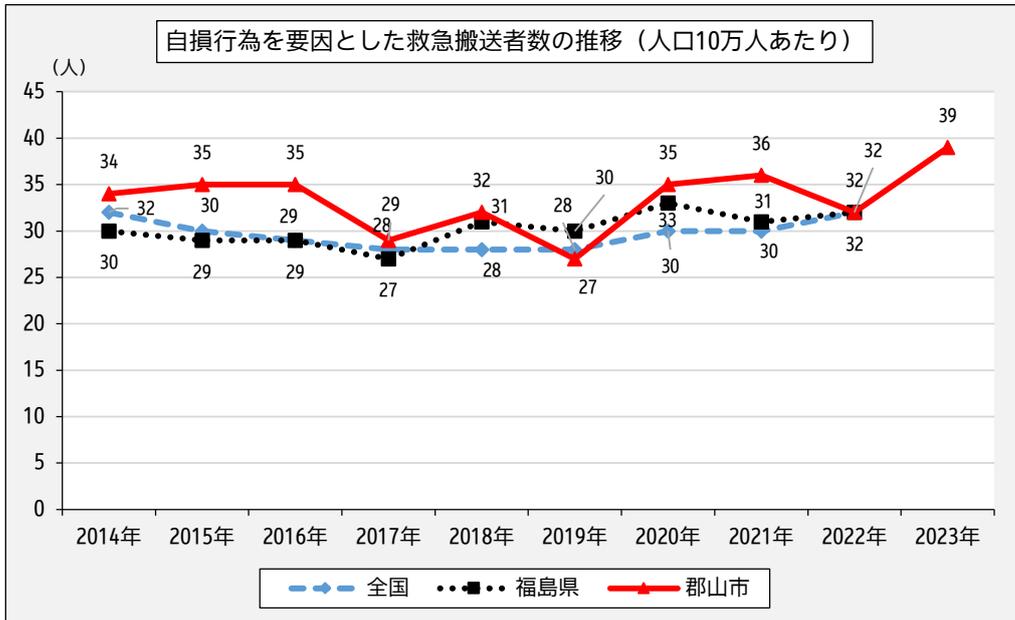


(備考) 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

分野4 自殺予防

(4) 自損行為を要因とした救急搬送者数推移 (人口10万人あたり)

郡山市は、2014年以降増減を繰り返している。2022年は減少したものの、2023年は増加した。

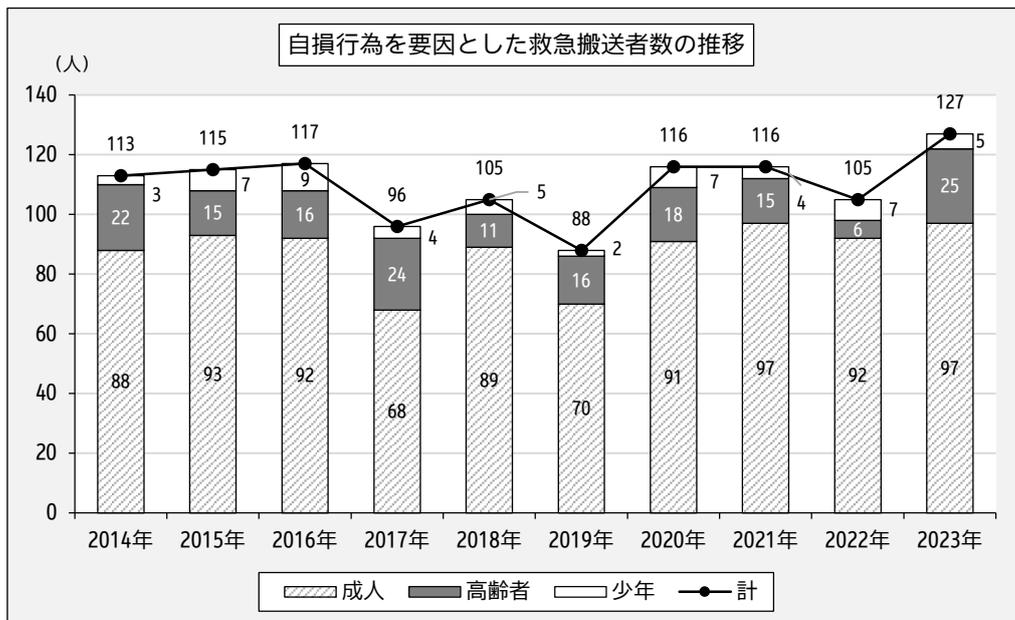


(備考) 1 「消防白書」(総務省消防庁)、「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

2 算出に用いた人口はP.5の表1による

(5) 自損行為を要因とした年齢階層別救急搬送者数推移 (郡山市)

成人が7割以上を占めている。



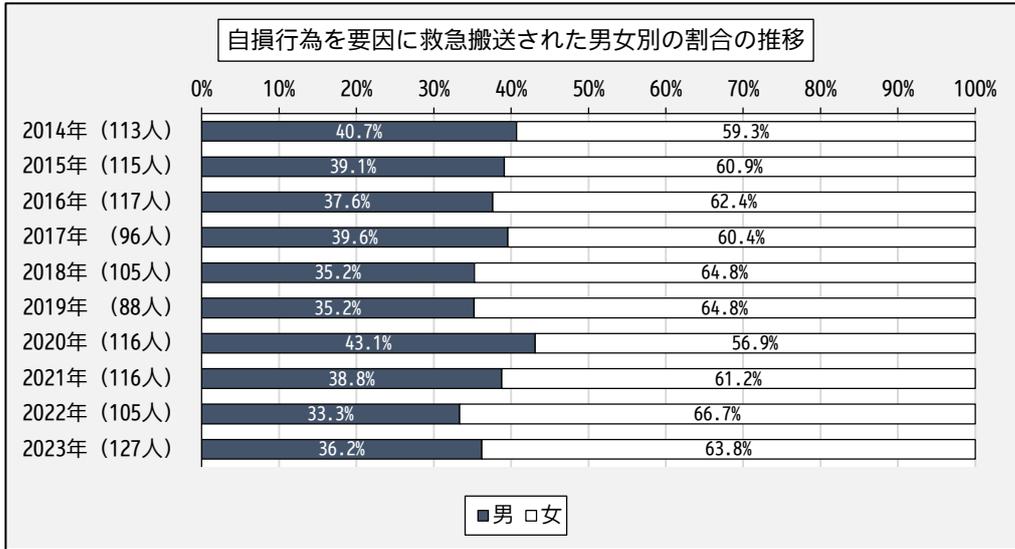
(備考) 1 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

2 年齢区分 少年…満7歳以上満18歳未満の者、成人…満18歳以上満65歳未満の者、高齢者…満65歳以上の者

分野4 自殺予防

(6) 自損行為を要因に救急搬送された男女別の割合の推移 (郡山市)

いずれの年においても、女性の割合が高い。

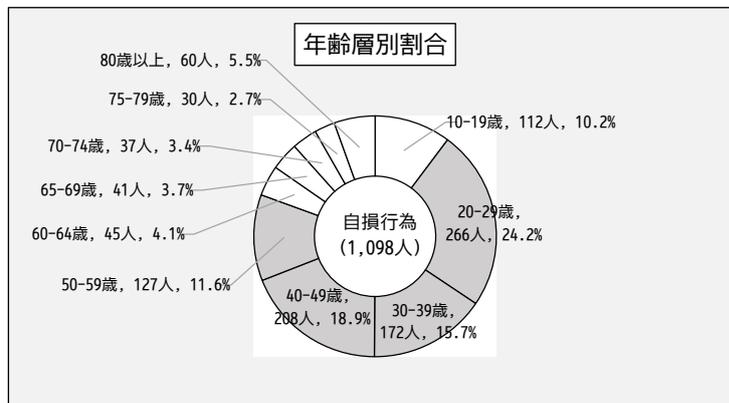


(備考) 「救急搬送データ (詳細版)」 (郡山地方広域消防組合) を加工して作成

(7) 自損行為を要因に救急搬送された年齢層別割合 (郡山市) (2014~2023年累計)

一番多い年代は「20-29歳」で24.2%となっており、次いで「40-49歳」が18.9%、「30-39歳」が15.7%となっている。20-50代で約7割を占めている。

人口割合と比較しても、10-40代は人口構成率に比べ自損行為により救急搬送された者の割合が大きい。



(備考) 「救急搬送データ (詳細版)」 (郡山地方広域消防組合) を加工して作成

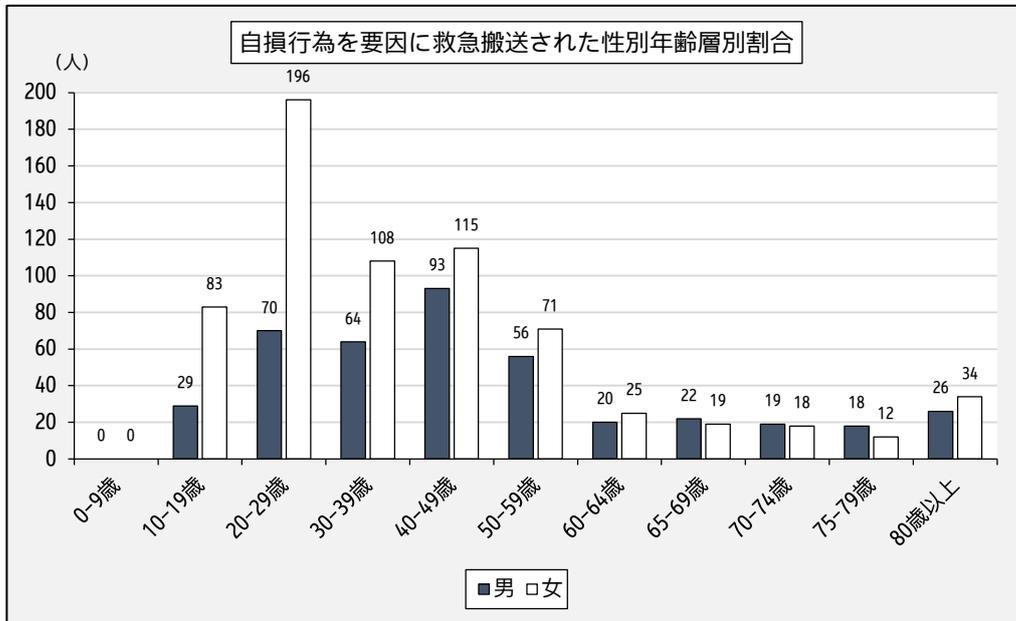
年齢層	2024年人口割合 (%)…①	年齢層別自損行為割合 (%)…②	①-②
0-9歳	7.5	0	7.5
10-19歳	8.9	10.2	-1.3
20-29歳	9.7	24.2	-14.5
30-39歳	11.4	15.7	-4.3
40-49歳	13.9	18.9	-5
50-59歳	13.9	11.6	2.3
60-64歳	6.5	4.1	2.4
65-69歳	6.7	3.7	3
70-74歳	7.2	3.4	3.8
75-79歳	5.4	2.7	2.7
80歳以上	8.8	5.5	3.3

(備考) 人口割合はP. 3 「住民基本台帳に基づく郡山市の地区別年齢別人口」 (郡山市政策統計課) を加工して作成

分野4 自殺予防

(8) 自損行為を要因に救急搬送された性別年齢層別割合(郡山市) (2014~2023年累計)

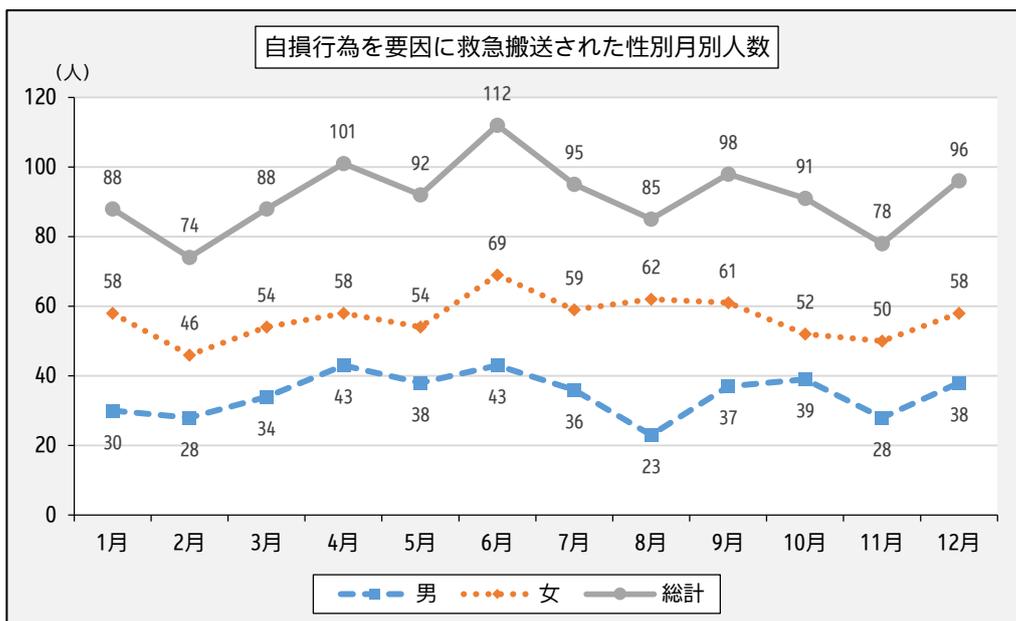
性別年齢層別では、女性は「20-29歳」が196人で一番多く、次いで「40-49歳」が115人、「30-39歳」が108人となっており、20代の女性の自損行為が多い。
また、男性は、「40-49歳」が93人で一番多く、次いで「20-29歳」が70人、「30-39歳」が64人となっており、働き世代の自損行為が多いことがわかる。



(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(9) 自損行為を要因に救急搬送された月別人数(郡山市) (2014~2023年累計)

男性は、「4月」「6月」が43人で一番多く、次いで「10月」が39人となっている。
女性は、「6月」が69人で一番多く、次いで「8月」が62人となっている。
男女ともに多い月は「6月」である。

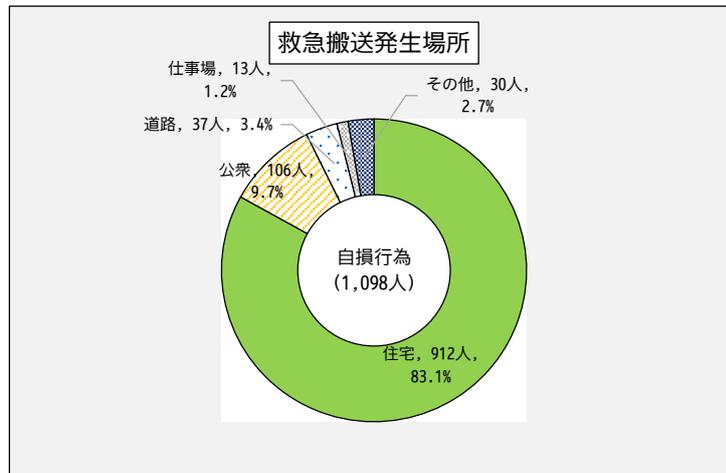


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野4 自殺予防

(10) 自損行為の救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2023年累計）

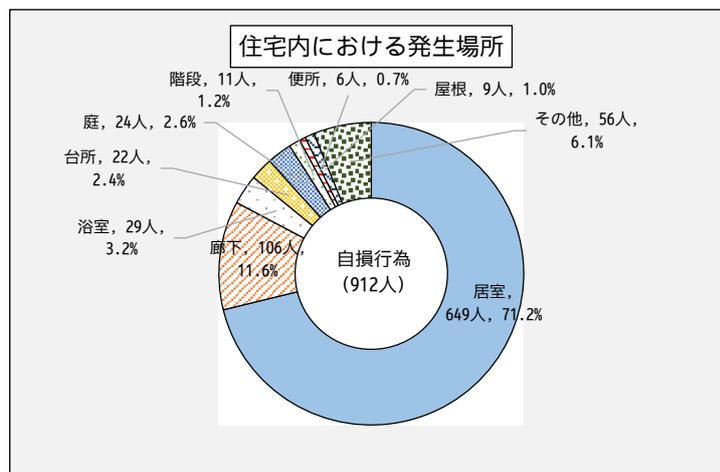
「住宅」が一番多く83.1%となっている。次いで「公衆」が9.7%、「道路」が3.4%となっている。



(備考) 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

(11) 自損行為の住宅内での救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2023年累計）

「居室」が71.2%で一番多く、次いで「廊下」が11.6%、「その他」が6.1%となっている。



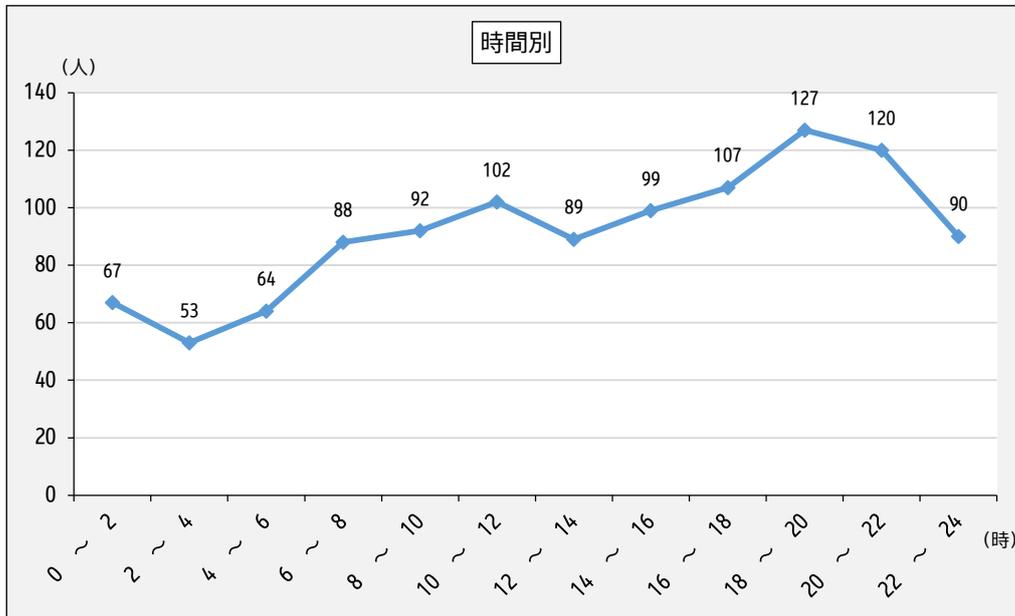
(備考) 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

分野4 自殺予防

(12) 自損行為を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市） （2014～2023年累計）

ア 時間別

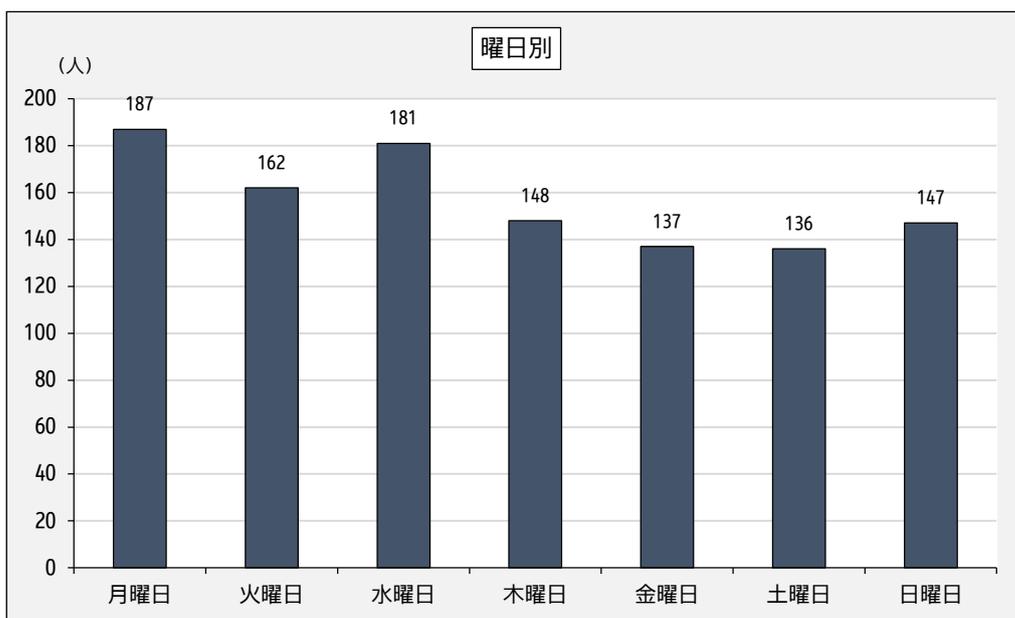
「18～20時台」が127人で一番多く、次いで「20～22時台」が120人、「16～18時台」が107人となっている。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

イ 曜日別

「月曜日」が187人で一番多く、次いで「水曜日」が181人、「火曜日」が162人となっている。

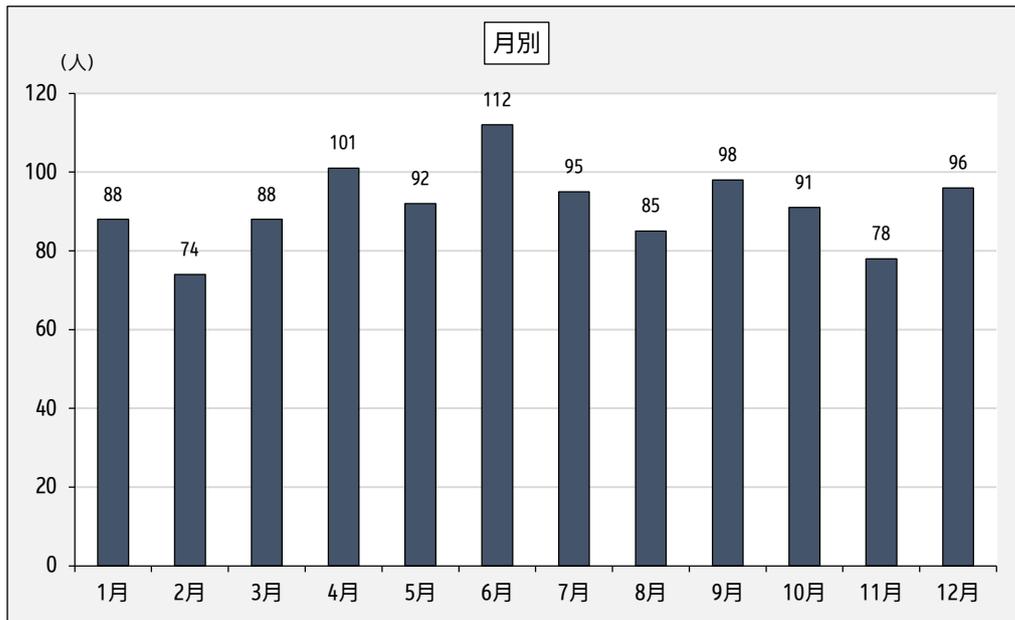


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野4 自殺予防

ウ 月別

「6月」が112人で一番多く、次いで「4月」が101人、「9月」が98人となっている。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成